

「花粉の少ない森づくり運動－企業の森」第1号の協定締結

企業の森・東芝（御岳）がスタート

東京都と（財）東京都農林水産振興財団は、「花粉の少ない森づくり運動」の一環として、法人参加の森づくり「企業の森」事業を発足しました。5月18日にその第一号として株式会社 東芝と森林所有者及び（財）東京都農林水産振興財団との間で協定を締結しました。

（株）東芝が森づくりに協力するのは、青梅市御岳にある4.72haの森林です。この森を「企業の森・東芝（御岳）」と命名しました。協定は、森林所有者のご協力により、林地を供用することを前提に、今後10年にわたって、植栽や下刈などの森林整備に要する費用を（株）東芝が負担し、森林整備は（財）東京都農林水産振興財団が担います。（株）東芝は、この森を社員教育の場としても活用していく予定です。

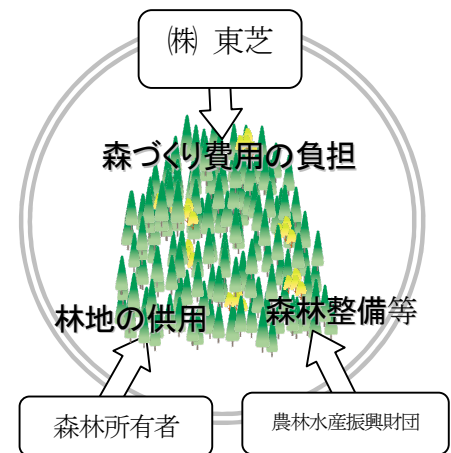
5月26日には、「企業の森・東芝（御岳）」で、植樹会が催されました。森林所有者、竹内青梅市長、島田東京都産業労働局長を来賓としてお迎えした式典の後、（株）東芝青梅事業所の社員約80人が斜面中腹まで登り、約2時間かけて、コナラ、ケヤキ、イロハモミジなど広葉樹1500本を植栽しました。



植樹に参加した社員の皆さん



植樹の様子



協定調印式

（株）東芝は、創業150周年を迎える2025年に向け、国内外で「150万本の森づくり」運動を展開しています。今後も地球温暖化防止や生物多様性の保全に貢献するとともに、従業員のCSR・地球環境保護意識の向上を目指しています。

リンク；

(1)東京都報道発表資料

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2007/05/20h5m800.htm>

(2)東芝 プレスリリース (2007.05.21)

http://www.toshiba.co.jp/about/press/2007_05/pr_i2101.htm

(3)東京都花粉症対策本部

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/norin/kafun/sugikafun.html>